

## 個別避難計画の策定 医療的ケア児の個別避難計画の作成マニュアル

青森県小児在宅支援センター 副センター長 奥寺 さおり

## 医療的ケア児個別支援計画策定までの過程

青森県小児在宅支援センターでは、県内の医療的ケア児への災害時個別避難計画の作成支援や避難訓練実施の支援を行っています。その支援のなかで自治体からは、災害時の対応は「自助」であるとお考えや計画作成について「何からやればいいのかわからない」、「医療的ケアとは何ですか」とのお声をいただいています。

自治体職員や福祉職にもわかりやすく医療情報をまとめ、医療的ケア児とその家族が適切な避難行動ができるための新たな計画様式が必要であると考え、当センターでは本年7月に「医療的ケア児災害時個別支援計画」と、その作成のマニュアル及び手引きを策定しました。

## 個別支援計画内容の特徴

災害発生直後に「自助力」をどう発揮できるかが、その後の被害状況を大きく左右します。そのため、家族が災害時に行動する際の判断の一助となるよう災害種別に応じ確認する項目とどのように行動するべきか対応の流れを簡潔なフロー図にして掲載しました。災害時の医療的ケア児支援では電源確保が大きく影響します。このため停電シミュレーションを行う手順や計画作成後の定期的見直しチェック表等も掲載しました。

## 計画作成のための連携・協働

医療的ケア児の計画作成には、普段から関わっている福祉と医療の専門職がそれぞれの専門性を活かして連携し、さらに地域住民との協働で「共助」を創り出す必要があります。このマニュアルには、医療的ケア児に関わる関係機関やその役割等を明記しています。あらかじめ平時に関係機関や多職種が集まり、医療的ケア児本人やその家族を交えて地域住民とともに計

画を作成することを当センターでは推奨しています。

## 個別支援計画様式の活用

本マニュアルの様式の一つに、医療情報をまとめて記入できるようになっています。これには、医療機関からの指示内容を家族と共通理解するためのツールとしての活用も期待できます。また、かかりつけ医以外の医療従事者への情報提供時の助けにもなります。さらに、様式への記入を通じ、平時から災害時に必要な備蓄品や医療機器の電源を意識することができます。

## 医療的ケア児とその家族のために

計画様式・作成マニュアル・作成手引きを策定し、各自自治体が個別避難計画を作成するにあたっての支援を行うことは、当センターが平時から医療的ケア児とその家族に対して提供できる「公助」であると考えています。自治体職員や医療的ケア児に関わる福祉や医療の専門職がそれぞれの立場からそれぞれができる平時の「公助」を実践していくことが、地域住民との「共助」を創り出し、医療的ケア児とその家族が災害時に行動すべき「自助」のより一層の向上につながります。医療的ケア児とその家族が、より安全に安心できる地域生活を支援していくことが私たちの役割です。



青森県小児在宅支援センターで策定した「医療的ケア児災害時個別支援計画 作成マニュアル」です。当センターホームページで公開し、PDF版とWord版を用意しています。地域の実情に即した計画作成のため、ご自由にダウンロードし適宜修正してご利用ください。



ホームページへはこのQRからどうぞ

\*「医療的ケア児災害時個別支援計画」は、個別避難計画に位置づけられます。



この著作物は著作権法、国際条約およびその他の知的財産権に関する法律や条約によって保護されています。版權者（独立行政法人福祉医療機構）ならびに著作権者の許可を得ない複製（コピー）、再配布を、固くお断わりいたします。